

2026年3月期第2四半期（中間期） 連結決算補足説明資料

2025年11月10日
アイエックス・ナレッジ株式会社
東証スタンダード市場(9753)



2026年3月期 第2四半期経営成績

(単位：百万円)

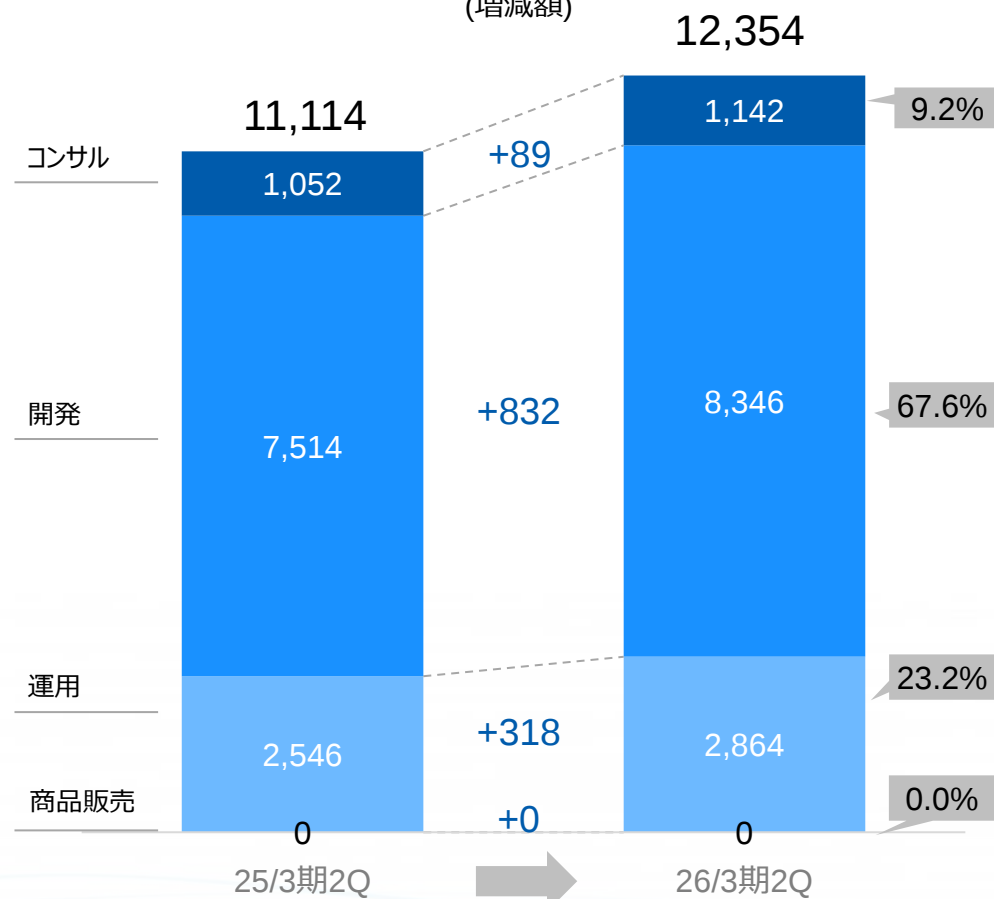
	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減率
売上高	12,354	11,114	11.2%
売上原価	9,860	8,824	11.7%
売上総利益	2,494	2,290	8.9%
売上総利益率	20.2%	20.6%	—
販売費及び一般管理費	1,409	1,354	4.1%
営業利益	1,084	935	15.9%
経常利益	1,145	980	16.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	823	667	23.3%

品目別売上構成

品目別

(単位：百万円)

(増減額) (構成比)



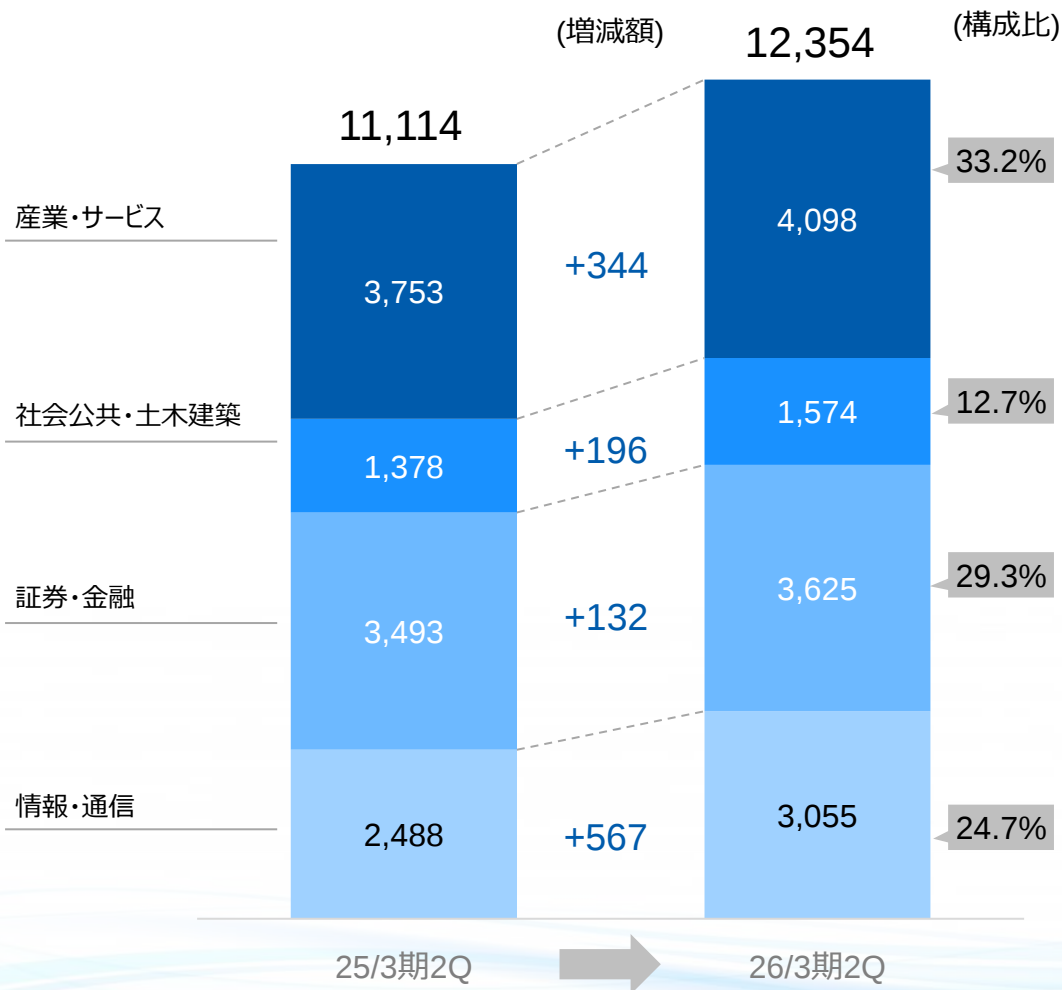
- コンサル
情報システム会社や物流会社向けコンサル
ティング案件が拡大し増加
- 開発
信託銀行や通信事業会社等のシステム
開発案件が拡大し増加
- 運用
医療機関やセキュリティ事業会社向け基
盤・環境構築案件が拡大し増加

※当グラフ中では、決算短信「1. 経営成績等の概況－（1）当期の経営成績の概況」における「コンサルティング及びシステムインテグレーションサービス」を「コンサル」「開発」に分けて記載、システムマネジメントサービスは「運用」と記載しております

エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別

(単位：百万円)

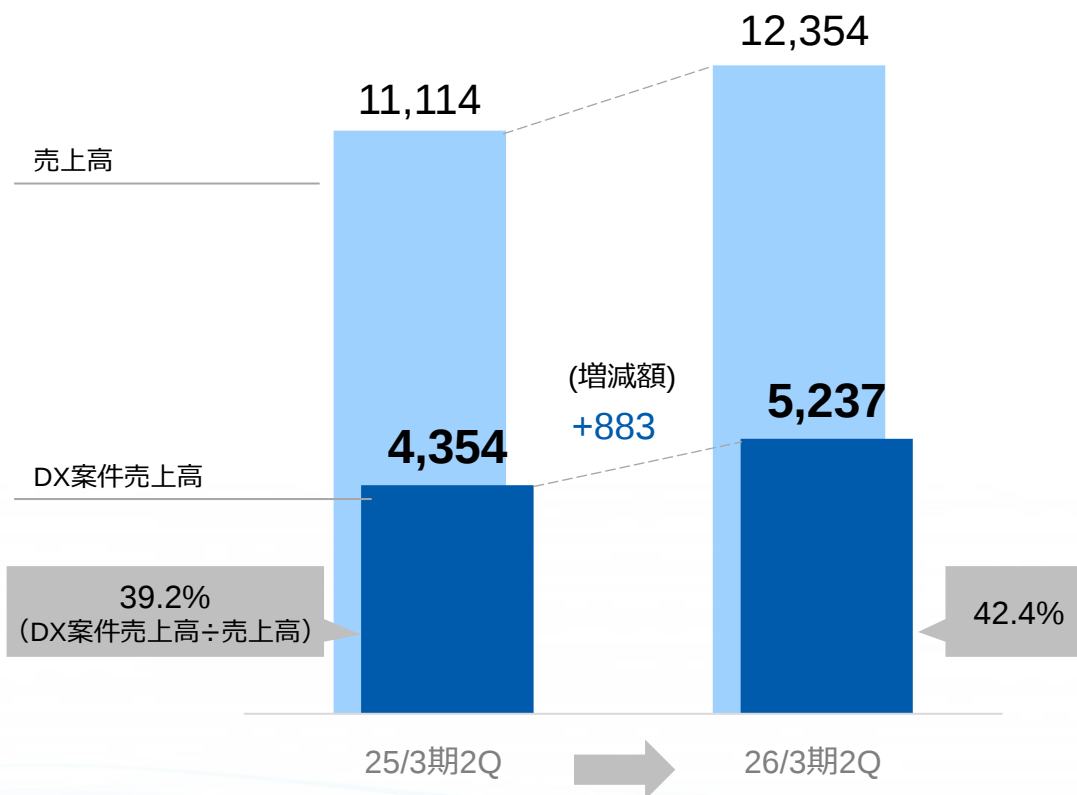


- 産業・サービス
決済・会計代行事業者向けのシステム開発案件が拡大し増加
- 社会公共・土木建築
医療関係のシステム基盤・環境構築案件、土木建築分野の案件が拡大し増加
- 証券・金融
信託銀行および銀行向けのシステム開発案件が拡大し増加
- 情報・通信
通信事業者向けのシステム開発案件やコンサルティング案件が拡大し増加

DX案件売上高および売上高比率

- ・成長が見込まれるクラウドを中心としたDX化への対応力強化を推進
- ・引き合いの多いクラウドネイティブ人材の育成に取り組む

売上高におけるDX案件売上高 (単位：百万円)



- DX化進展に伴うクラウド利用の増加により、クラウド構築案件が拡大
- 従来型の開発手法からアジャイル開発へシフトし、アジャイル開発案件が拡大



売上高全体に占めるDX案件売上高は
39.2%から42.4%となり3.2ポイント増加

※DX案件は、アジャイル開発等のデジタル化を牽引する要素技術、クラウド構築等のDX化のベーシック開発、AIやデータ分析等のDX化のハンドリング開発の3つの切り口で抽出しております。

2026年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2026年3月期 予想	2026年3月期 第2四半期実績	進捗率	(参考) 2025年3月期 実績
売上高	23,238	12,354	53.1%	22,828
営業利益	1,925	1,084	56.3%	1,867
経常利益	1,987	1,145	57.6%	1,950
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	1,366	823	60.2%	1,326

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

「社会とITの未来をともにつなぐ」

“Connecting people one world”



IX Knowledge Inc.

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 経営管理部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>